

令和6年度 第1回「学校評価アンケート」結果について

三島町立三島小学校

※ 課題となる項目は塗りつぶし

※ 数字は「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合(%)

	No.	評価項目	児童	保護者
よく考える子ども	1	お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。	95.3	97.0
	2	お子さんは、進んで授業に取り組んでいる。	93.0	93.9
	3	お子さんは、友達の話をよく聞き、自分の考えを発表している。(学び合い)	93.0	87.8
	4	お子さんは、授業でよく考え、新しい知識や技能を身に付けている。(レベルアップ)	95.3	90.6
	5	お子さんは、三島町に関わることについて学び、考え、発信している。(ふるさと学習)	93.0	87.6
	6	お子さんは、学習したことを普段の生活に生かそうとしている。(活用)	81.4	91.0
	7	お子さんは、進んで家庭学習や自主学習に取り組もうとしている。(家庭学習)	90.7	62.5
思いやりのある子ども	8	お子さんは、夢や目標をもち、それらについて家庭で話題にしている。(自律)	90.7	78.2
	9	お子さんは、自分から進んであいさつをしている。(挨拶)	97.7	90.9
	10	お子さんは、相手の気持ちを考えた行動をしている。(配慮)	90.7	84.8
	11	お子さんは、学級や学校、三島町のために、自分にできることを考え、行動している。(貢献)	93.0	71.9
	12	お子さんは、友達やお世話になった方に、感謝の気持ちを伝えている。(感謝)	97.7	93.9
	13	お子さんは、笑顔で過ごすために、友達にゆずったり、歩み寄ったりしようとしている。(折り合い)	93.0	90.9
	14	お子さんは、自分のよさを生かし、友達のよさを認めて、いっしょに活動しようとしている。(リスペクト)	95.3	96.9
たくましい子ども	15	お子さんは、毎日、健康に過ごすために、早寝・早起き・朝ごはんや、メディアコントロールに取り組んでいる。(自律)	88.4	69.7
	16	お子さんは、休日に進んで運動や運動遊びに取り組んでいる。(巧緻性)	79.1	69.7
	17	お子さんは、自分の身体や健康、体力づくりについて、学習したことを生かして生活している。(活用)	88.4	78.2
	18	お子さんは、体力を高めたり、新しい技を身に付けたりするために工夫して運動している。(コツ)	81.4	75.8
	19	お子さんは、苦手なことや新しいことにも、失敗を恐れずチャレンジしようとしている。(チャレンジ)	95.3	78.8
	20	お子さんは、夢や目標に向かって、粘り強く取り組もうとしている。(継続)	88.4	78.8
その他	21	お子さんは、学校に楽しく登校している。	95.3	93.9
	22	お子さんは、学校や家庭で、進んで読書に取り組んでいる。	62.8	45.4

「学校評価保護者アンケート（7月）」の自由記述から

【学校・職員への感謝】

- いつも教育熱心に取り組んでくださり、大変感謝しております。親子共々ご指導よろしくお願ひいたします。
- 一人一人をととてもよく見てくれていてありがたいと思います。

→ 日頃より本校の教育活動にご理解とご支援をいただきましてありがとうございます。これからも保護者の皆様と手を取り合い、一人一人を大切にされた教育活動に取り組んでいきます。

【学校での体力づくりについて】

- 登下校がバスで、今のところスポーツクラブなどにも入っていないので、学校でたくさん身体を動かす機会を作ってもらえたら嬉しいです。
- 毎日、朝の運動を楽しみにしています。引き続き実施をお願いいたします。

→ 学校のホームページを中心に、子どもたちの学校での体力づくりの様子をお伝えしております。朝の運動では、校庭のランニングと鉄棒運動に加えて、今年度からは代表委員会が曜日ごとメニューを決めて、子どもたち主体で実施しています。また、運動を通した健康な身体づくりを自分事として考えることができるように、今年度から4年生以上は「自分手帳」を活用して月ごとの振り返りを実施しています。今後も、子どもたちが生涯健康に過ごすための基盤づくりに取り組んでまいります。

【視力低下の心配について】

- 子どもたちの視力低下が心配です。自宅では、クロームブックの使用を最低限としています。むし歯は治りますが、視力は回復しません。

→ クロームブックの使い方と、子どもたちの視力については十分に注意をしていく必要があると考えております。学校では、毎年、ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会のインストラクターでいらっしゃる三島町教育委員会の小杉一浩様より、健康問題を含む情報モラルについて、全学年でご指導をいただいております。また、長期休業など、メディアに触れる時間が長くなると考えられる場合は、資料を用いて事前指導を行ったり、「メディアコントロールカレンダー」で使用時間を子どもに自覚させたりする工夫を行っております。今後も、子どもたちの視力の低下が引き起こされないように、対応を検討していきたいと思ひます。なお、視力低下を防ぐためには、以下の3点が有効だそうです。ご家庭でもぜひ参考になさってください。

- ① 外遊び等により太陽の光を十分に浴びること
- ② 端末は30cm離して長時間見ないこと
(20分に1回は端末から目を離し、遠くを見るようにする。)
- ③ 夜にブルーライトを浴びないようにして、ぐっすり眠ること

【子どもとの関わり方について】

- 自分が正しいと思うことを周りにも共有して欲しい気持ちが強いのに、上手に伝えられず怒ることかあります。どう伝えたらよいか教えたいと思ひますが、いい方法があればぜひご教授下さい。

→ 自分の気持ちを上手に伝えられずに落ち込んでしまうことは、小学校段階の子どもたちにはよくあることです。そのため、「こんなふうには言えよかったですね。」と、本人の気付きを促すように伝えることは大切です。また、「本当はどうしたかったの?」「どんなふうには言いたかったの?」など、子どもたちの本音を引き出して、「そうだよね。」と共感してあげることも心の安定のために重要です。じっくりとお子様の話を聞き、お子様に寄り添う関わり合いをお願いしたいと思ひます。

【学校評価の質問項目について】

- 学校での様子がわからないのと、まだ低学年なので、あまり難しく考えて過ごしていないと思ひるので、回答できない項目もありました。

→ 的確なご指摘ありがとうございます。低学年児童にとっては、回答しにくい質問項目もあったかと思ひます。今後の参考にさせていただきます。